

報道関係各位

2017年10月2日
BizMobile 株式会社

【世界初】クラウド型 MDM サービス BizMobile Go! の

アプリ管理機能をさらに強化し、Apple ID を全く使わない MAM 運用を実現

～ ユーザー単位の MAM 運用はもう限界、デバイス単位の MAM だけで運用を簡単に ～

スマートフォンやタブレット、PC の導入・運用の負担を劇的に軽減するクラウド型マルチデバイス管理プラットフォーム(MDM)を開発・運用する BizMobile 株式会社(ビズモバイル、本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:小畑 至弘、以下: BizMobile)は、iOS 11 の新機能にも対応した、新しいモバイルアプリケーション管理(以下: MAM¹)である「アプリカタログ “BizGo! Catalog”」の提供を開始しました。

MAM は、BYOD(個人所有端末の業務利用)や COPE(会社支給端末の業務利用)といった利用形態におけるアプリケーション管理を実現するために生まれました。iOS 7以降、個人や法人という「ユーザー(Apple ID)」単位の MAM が可能になりましたが、「ユーザー」情報である Apple ID は MDM では取得できません。Apple ID を端末ごとに取得し、手元にない端末の Apple ID を管理する作業はすべて手作業で、企業の IT 部門にとって大きな負担になっていました。

iOS 9以降、MAM にも「デバイス」単位という概念が導入され、端末ごとの Apple ID の登録は不要になりました。しかし、これまで「ユーザー(Apple ID)」単位で MAM を行っていた企業が、「デバイス(デバイス ID)」単位の MAM に移行するのは容易ではありません。また、iOS のバージョンによって利用できる「ユーザー(Apple ID)」機能も大幅に増えましたが、「ユーザー(Apple ID)」機能を正しく制限設定できない場合には、想定外の事象²が発生するようになりました。

Apple ID とパスコードが盗まれる事件が近年世界中で発生したため、iOS10.3 以降導入された「2ファクタ認証³」により、手元に端末がある小規模事業者以外、「ユーザー(Apple ID)」単位での MAM が難しくなりました。また、退職者時に Apple ID のパスコードが分からなくなり、Apple ID がサインアウトできなくなってしまうケースが頻発す

¹ MAM とは、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスにインストールするアプリケーションとライセンスを、ストアから購入し、デバイスに配布(インストール、アップデート、デリート)し、不要になったライセンスを回収するなど、アプリケーションに係わるあらゆる手続きを一元的に管理する仕組みである。近年、導入目的が多様化しており、情報漏洩防止だけでなく、マルウェア混入防止、世代管理など多様な機能が提供されるようになってきている。

² 「ユーザー(Apple ID)」の MAM では、利用者が勝手にアプリをインストールするのを制限する場合、App Store を禁止(アイコン非表示)します。同時に、iTunes を禁止しないと、想定しない言語やバージョンのアプリがインストールされる。(この事象は、iOS 11 に対応したバージョン 12.7 で、iTunes からアプリが削除され、インストールできなくなってからは発生しない)また、「ユーザー(Apple ID)」単位の紛失モード(iPhone を探す)と「デバイス(デバイス ID)」単位の紛失モードの併用が出来ない。

³ iOS10.3 以降、Apple ID の認証を二重化することでセキュリティを強化し、たとえパスワードが他人に漏れても、本人以外にはアカウントにアクセスできないようにする認証方式。自分で信頼した iPhone, iPad, Mac 端末からしか、アカウントにアクセスできない。

BizMobile 株式会社

〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 5-1 神田ビジネスキューブ 3F

TEL: 03-5207-9800 FAX: 03-3252-1050

URL: www.bizmobile.co.jp



Press Release

るようになり、企業の IT 管理者からは、Apple ID を使わない運用を求める声が多数寄せられていました。

しかし、「ユーザー (Apple ID)」単位の MAM から、「デバイス (デバイス ID)」単位の MAM への移行の障壁となっていたのは、全てのアプリが強制的にインストールされてしまい、端末のユーザーが希望する App Store アプリのみを任意のタイミングで導入できないことでした。

今回 BizMobile Go! に追加された「アプリカタログ “BizGo! Catalog”」は、全ての管理配布をデバイス単位の MAM に移行しても、端末ユーザーが任意でインストールする App Store アプリを選択できるというものです。管理画面で「推奨 App Store アプリ」を登録すると、BizGo! Catalog アプリ内にその一覧が表示され、ユーザーが任意でインストールするアプリを選択出来るのです。BizMobile Go! なら、iOS 端末を新規導入も、移行も安心して行えます。

【 BizMobile Go! の強力な MAM 機能 】

管理対象の App Store アプリを MDM で配布する新方式に対応	管理配布	
	ユーザー単位	デバイス単位
再割り当て ⁴ 可能な App Store アプリライセンスに対応	○	○
利用可能な iOS のバージョン	iOS 7 以降	iOS 9 以降
企業による Apple ID 取得の必要性	有	無
個人名義で購入した App Store アプリを管理対象 (会社所有) に変更する	○	-
購入した App Store アプリを同一「ユーザー (Apple ID)」の複数のデバイスで利用できる	可	不可
App Store アプリを一括購入すると MDM に自動登録する機能 (独自機能)	○	○
App Store アプリが更新されると端末内の App Store アプリを自動更新する機能 (独自機能)	○	○
App Store アプリを推奨アプリとして登録、利用者が任意のタイミングでインストールする機能 (独自機能)		○

⁴ 一括購入した「ユーザー」単位のライセンスや「デバイス」単位のライセンスは回収し、再割当可能。また「ユーザー」単位のライセンスを「デバイス」単位のライセンスに変更することも可能。

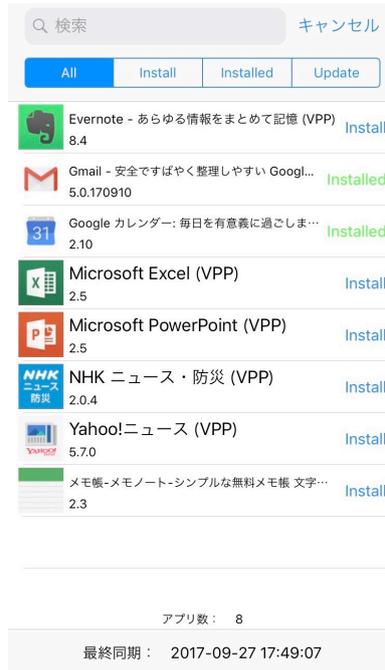
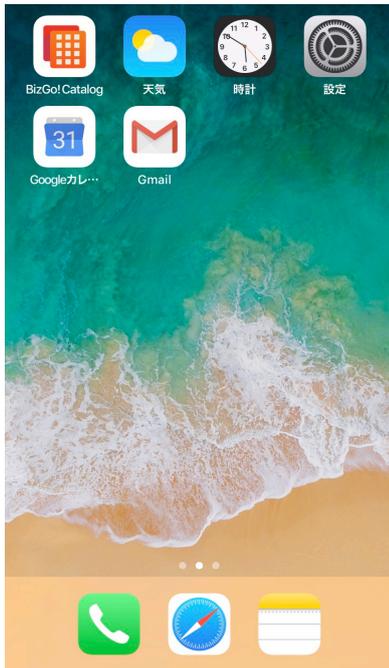
BizMobile 株式会社

〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 5-1 神田ビジネスキューブ 3F

TEL : 03-5207-9800 FAX : 03-3252-1050

URL : www.bizmobile.co.jp

【「BizGo! Catalog」(AppStore アプリ)のイメージ】



「BizGo! Catalog」(AppStore アプリ)及び必須アプリは、自動的に端末にインストールされる。右は推奨アプリの一覧の例。

【アプリカタログ登録管理画面】

BizMobile Go! ダッシュボード 操作 表示 構成 DEP アプリライセンス 設定 ログ [ダウンロードページ]

一覧モード ツリーモード

構成 > アプリカタログ > 詳細 > アプリカタログ01

戻る 編集 削除

OS	iOS
名前	アプリカタログ01
説明	使用を推奨するStoreアプリとInhouseアプリ
テンプレート数	1

アプリケーション一覧

名前	識別子	タイプ	購入方法	バージョン	管理可能	自動更新
Evernote - あらゆる情報をまとめて記憶 (VPP)	com.evernote.iPhone.Evernote	Store	VPP	8.4	有効	有効
Gmail - 安全ですばやく整理しやすい Google の Eメール (VPP)	com.google.Gmail	Store	VPP	5.0.170910	有効	有効
Google カレンダー: 毎日有意義に過ごしましょう (VPP)	com.google.calendar	Store	VPP	2.10	有効	有効
Microsoft Excel (VPP)	com.microsoft.Office.Excel	Store	VPP	2.5	有効	有効
Microsoft PowerPoint (VPP)	com.microsoft.Office.Powerpoint	Store	VPP	2.5	有効	有効
NHK ニュース・防災 (VPP)	jp.or.nhk.news	Store	VPP	2.0.4	有効	有効
Yahoo!ニュース (VPP)	jp.co.yahoo.yjtrend01	Store	VPP	5.7.0	有効	有効
メモ帳-メモノート-シンプルな無料メモ帳 文字数メモ (VPP)	com.ryohei.haruki.MemoNote	Store	VPP	2.3	有効	有効

BizMobile は、これからも MDM を基盤とし、お客様のご期待やご要望に積極的に応えるサービスや機能を提供してまいります。

